

○ バードウォッチング入門

1. 日時：2023. 6. 10（土） 9：50～12：00 天気 晴れ
2. リーダー：U、M、T
3. 参加者：大人 8名 子供 6名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～芝生広場～散策路①～④～水飲み広場～管理道～多目的ルーム
6. 活動内容：バードウォッチングのマナー、双眼鏡の使い方や図鑑の使い方を勉強し、野外に出て実際に野鳥を観察してもらう。

時間・場所	内 容
9：50 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をした後、活動の流れを説明する。</li> <li>・ツバメの生態について図鑑で確認する。</li> <li>*食べ物：飛びながら昆虫類を捕食する。</li> <li>*体の特徴：額と喉は赤褐色で、尾は長い燕尾型。</li> <li>*巣：人家の軒など土と枯草を主材にして作る。</li> <li>*ねぐら入り：繁殖後や渡りの時に、集団で葦原などの場所で過ごす。(7～8月の夕暮れ時)</li> <li>*タッチペンで鳴き声を聞く。聞きなしは“土喰って虫喰って洪ーい”</li> <li>*漢字ドリル：ツバメがひくくとぶと雨(雨で高く飛べない虫を食べるため)</li> <li>・マナーや双眼鏡の使い方について丁寧に説明する。</li> <li>・双眼鏡の使い方を説明した後、模型のホオジロでピント合わせをしてもらう。</li> <li>・樹液にスズメバチがきているので、注意喚起する。</li> </ul>
ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯水池の7の標識にピントを合わせる。ウグイスやヒヨドリ声を聞く。</li> <li>・キツツキの仲間が脳震盪を起こさない理由や舌の構造を話す。</li> </ul>
～芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴き声に耳を澄ませる。</li> <li>・ヒヨドリは鳴き声とともに梢に留まった姿をしばらく観察することができた。</li> <li>・カワラヒワやシジュウカラ、ハシボトガラス以外に「ピピピピピ」との甲高い声を聞いた。</li> <li>・メジロの声もよく聞こえたので、長いブラシ状の舌で花の蜜を絡めとることを説明する。</li> </ul>
散策路③ ④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エゴノキ：実はヤマガラ（10円玉4枚相当で約20g）の大好物。シカによる樹皮の食害。</li> <li>・ホトトギスやキビタキの声がよく響いていた。コゲラの声も聞いた。</li> </ul>
11：15 ～水飲み広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・托卵：夏鳥のカッコウの仲間は托卵するが、ホトトギスは主にウグイスに托卵。</li> <li>・自由に野鳥を観察しながら他の生き物も見つける。</li> <li>・ダンゴムシの巣、キノコ、スズメバチ、オオヒラタシテムシの幼虫。</li> <li>・管理道では、虫をくわえたツバメとシマヘビを観察。</li> </ul>
多目的ルーム ＜鳥合わせ＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声：ホトトギス、コゲラ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ウグイス、メジロ、キビタキ、カワラヒワ</li> <li>・姿：ハシボトガラス、ヤマガラ、ツバメ、ヒヨドリ。（12種類を確認）</li> </ul>
12：00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート依頼、解散。</li> </ul>